



水分宮由來集
 崇神天皇御宇
 九月二一日
 自此平野山
 乘龍馬到芳野中山
 影向之初
 在異香故名芳野
 自彼中山
 乘白鷺到玉岳上宮
 御影向之初
 兩大玉如意宝珠
 故名玉岳上宮

宇太水分神社例大祭
 平成27年10月18日(日)



宇太水分神社は、第十代崇神天皇の勅祭と伝えられており、古くから、水のまもり神として信仰を集めてきました。本社のご祭神として速秋津彦命（はやあきつひこのみこと）様、天水分神（あめのみくまりのかみ）様、国水分神（くにのみくまりのかみ）様をお祀りいたしております。また、鎌倉時代に建造された本殿は国宝の指定を受けており、平成16年には造営事業により、見事な彩色の復原が行われました。

宇太水分神社(うだのみくまりじんじゃ)
 〒633-2226 奈良県宇陀市菟田野古市場245
 TEL 0745-84-2613 FAX 0745-84-2684
 URL: <http://www1.odn.ne.jp/udanomikumari/index.htm>

みくまりまつりとは・・・？
 歴史は長く、起源は平安時代の『水分宮由來集』(左頁)にまでさかのぼります。
 上芳野(芳野川の上流)に位置する惣社水分神社(地図①)の女神様である速秋津姫命(はやあきつひこのみこと)様が、夫君である宇太水分神社(地図②)の男神様、速秋津彦命(はやあきつひこのみこと)様に年に一度だけ、お会いになるため、六キロの道のりをお神輿にて渡御されるといふロマンチックなお祭です。
 この神輿渡御は、伊勢湾台風以降中断されておりましたが、平成二年、ふるさと創生事業により、惣社水分神社の神輿(重要文化財)のレプリカを作成し、神輿渡御を復活いたしました。
 日程は本来、『水分宮由來集』に基づき十月二十一日となっておりますが、平成十一年より、十月の第三日曜日に挙行いたしております。
 昼ごろには、神輿渡御行列に先立ち、六基の勇壮な太鼓台が、乗児の子どもたちの叩く太鼓の音とともに、境内に集まります。
 神輿渡御行列は、大名行列の形をとり、挟箱、槍振、花笠などが神輿を先導します。
 宇太水分神社の神職と氏子は、芳野と宇太の中間地点にある東郷(地図③)まで女神様をお迎えに行き、そこで秘撰(ひせん；特別なお供え)として、粟(あわ)、口紅、おしろいを、女神様のお神輿にお供えします。ここで化粧をなさるそうです。

◆ご参拝の皆さまへ◆
 なるべく公共交通機関をご利用ください。
 奈良交通バスは通常の日曜ダイヤで運行します。
<http://jikoku.narakotsu.co.jp/form/asp/>
 0745-82-2201 (奈良交通榛原営業所)

駐車場として“奈良カエデの郷「ひらら」”(旧 宇太小学校)をご利用いただけます。世界中のカエデがご覧いただけカフェや売店も充実。是非お立ち寄りください。その他の駐車場は係員がご案内いたします。
<http://udakaedenosato.main.jp/>



みくまり祭（神輿渡御祭）の一日

予定時刻は太鼓台の進行状況などにより変動します。天候によっては神輿渡御が御幣渡御となるなどの変更があります。

宇太水分神社

午前7時 境内に宮本(古市場自治会)太鼓台の担ぎ手、乗児が集合し、お祓いを受けて出発します

午前10時 本祭の儀(氏子、崇敬者が参拝し、秋の恵みに感謝する神事)が拝殿で行われます



午前11時ごろ

子ども神輿が、各自治会から集まり、神社境内は元気な声でにぎわいます。その後、和太鼓「奏(そう)」の子どもたちによる演奏が行われます。



昼12時から午後2時ごろ

勇壮な太鼓台(宮本、岩崎、松井、佐倉、宇賀志、芳野の6基)が順次境内に入り、境内を練りまわります。



午後2時ごろから

神輿渡御の行列が、芳野からの太鼓台に先導されながら到着します。神社境内は、最高潮の盛り上がりとなります。拝殿に神輿を奉安し、前日までにそれぞれ例祭を行った各地区の郷社26社の御幣を本殿に奉ります。各地区(郷)の氏神様がお集まりになったことを表します。

その後、**神輿著御の儀**(惣社水分神社の女神様が宇太水分神社の男神様のところへお渡りになったことを告げる祭典)が行われます。当社宮司が本殿に向かって、それぞれ同時に祝詞を奏上するという、極めて珍しい神事です。



神輿渡御行列が到着!

神輿渡御行列(お渡り)の列順(宇太水分神社到着時)

【出迎え】宇太水分神社神職(禰宜)—裃方(宇太水分神社氏子)—郷社御幣(郷社26社氏子代表)

【惣社水分神社からの神輿渡御】惣社水分神社総代—小榎または小御幣・小鉢・立傘—台傘—弓・鉄砲・長刀・赤槍・次槍の子どもたち—拍子木—手振役—挟箱—槍振(11名)—槍警固—御神輿太鼓持—太鼓打—花籠—花籠警固—大鉢—獅子頭—金幣—白幣—立札—大榎—賽銭箱—杓振り(8名)—宝箱—御神輿—御神輿警固—ぜんの綱元取—ぜんの綱持(芳野子供会)—御神刀—惣社水分神社神職—惣社水分神社役員

神輿渡御行列・太鼓台

岩崎、松井、宇賀志、佐倉、芳野でそれぞれ太鼓台が出発します。

惣社水分神社(芳野、地図①)では**神輿渡御行列**が出発式を行って出発します。

午前9時 神輿渡御行列は、鳥居垣内で槍振を、観音寺前で祭典を行います。

午前10時 神輿渡御行列は、山野口(地図②)で祭典を行います。

午前11時半ごろ

神輿渡御行列は、東郷の勝林寺前(地図③)で宇太水分神社側からの迎え(神職、氏子代表、郷社氏子代表)と合流して祭典を行います。宇太水分神社の男神様からの秘撰(特別なおそなえ)である粟(あわ)と化粧品を惣社水分神社の女神様のお神輿にささげます。女の神様はここで化粧をなさるそうです。その後槍振を行います。



12時半ごろ 松井の天神社前(地図④)で祭典と槍振を行います。

午後1時半ごろ 古市場の地蔵の辻前(地図⑤)で槍振りを行い、宇太水分神社(地図⑥)へ向かいます。



**伝統の槍振を
間近でご覧下さい!**

午後3時ごろから

還幸の儀(退出): 芳野太鼓台→神輿行列→佐倉太鼓台→宇賀志太鼓台→松井太鼓台→岩崎太鼓台→宮本太鼓台の順で各地域に帰っていきます。

それぞれの太鼓台は、出発前に再び、境内を練りまわります。2基や3基の太鼓台が、同時に境内を練りまわることもあり、**大迫力**の見ごたえです。また本年は、**神輿渡御行列の槍振**を、境内の中央で行います。その際には、**通路の確保のため、ご参拝の皆様には場所の移動をお願いいたしますので、役員の指示に従っていただけますよう、お願い申し上げます。**

